

まちづくり交付金 事後評価シート  
長坂地区

平成20年12月

山梨県北杜市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	山梨県		市町村名	北杜市		地区名	長坂地区			面積	77ha	
交付期間	平成16年度～平成20年度		事後評価実施時期	平成20年度		交付対象事業費	912百万円	国費率	40			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路事業(市道仲町長小線・市道長坂駅渋沢線・市道長大地入沢線)・下水道・地域生活基盤施設(駐車場)・高質空間形成施設(街路サイン・駅前歩道等)									
		提案事業	地域創造支援(上水道)・まちづくり活動推進(人材活用)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(長坂駅前広場)	事業名				削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
		提案事業	なし							影響なし		
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(市道長坂8号線)・地域生活基盤施設(多目的広場)					当初計画では駐車場兼用の公園として計画したが、駐車場としての機能が多いため、すべて駐車場とした。また、変更により、同一目的の公園整備が行われた。		影響なし		
		提案事業	地域創造支援(既存建物解体)					市道長大地入沢線改良工事に影響する、交差点部分の構造変更に伴い追加した。長坂駅前広場で行う予定であったイベントの出来る公園の追加。		道路・駅乗降者数・コミュニティ・ステーション利用者数の指標に関連 地域生活基盤施設:影響なし		
交付期間の変更	当初	平成16年度～平成20年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更	なし										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	長坂コミュニティ・ステーション利用者数	人/年	20,900	15	22,990	20	-	47,000	○	あり なし	H22.3.31
	指標2	まちなか公園おいでや利用者数	人/年	5,700	15	6,270	20	-	6,800	○	あり なし	H22.3.31
	指標3	駅乗降客数	人/日	2,100	15	2,310	20	-	2,200	△	あり なし ●	H22.3.31
	指標4											
指標5												
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標1	長坂駅渋沢線下りへの車両進入台数	台/日	488	17		570				駅前交差点の利用について、長坂駅渋沢線下り方向への車両台数の計測を行い、改良前と比較する	H22.3.31
	その他の数値指標2											
その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況	多目的広場(まちなか公園「通称名:グーチョキパーク」)の運用について、地元有志者による組織立ち上げの計画があり、今後の維持管理(除草作業)を行う。また、夏季休暇中のラジオ体操や、使用済み油の回収場所としての利用も検討されている。整備前は、金融機関駐車場や駅前駐車場を利用して行われていたイベントや「時代まつり」も会場を当公園に変更活用を図っていく。											
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	まちづくり活動推進(人材活用)事業	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地域の意識が高まり、自主活動として地域の環境美化に反映する。					
	持続的なまちづくり体制の構築	多目的広場を活用した「時代まつり」開催	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地元商店街のみのイベントのため、市はPRに協力し、公共交通機関の利用者の増加を図る。					

# 様式2-2 地区の概要

## 長坂地区(山梨県北杜市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
<b>大目標</b> ハヶ岳南麓地域の拠点であり玄関口となる本地区の生活基盤の整備を図り、人と街の結び付きを強める。 <b>目標1</b> 駅前広場・交差点の改良整備により中心市街地への結節性と各施設への利便性及び安全性を向上させる。 <b>目標2</b> 未利用地の生活基盤の整備により宅地開発の誘導を促進する。 <b>目標3</b> 駅、商店街、核施設の連携により来訪者の利用率を高める。	<b>長坂コミュニティ・ステーション利用者数</b> 単位: 人/年 <b>まちなか公園 おいでや利用者数</b> 単位: 人/年 <b>駅乗降客数</b> 単位: 日/年	20,900 H 15 5,700 H 15 2,100 H 15	22,990 H 21 6,270 H 21 2,310 H 21	47,000 H 20 6,800 H 20 2,200 H 20

**まちの課題の変化** 市道の整備により歩道を確保し、通学路の安全性が向上したが、県道部分は建物も連立していることから、拡張等が困難である。また、イベント広場を設置することで地域住民や来訪者のための空間作りができたが、維持管理や広場活用促進が今後の課題である。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)** 歩行者の安全性確保のための、連絡道の整備については、回遊道の再検討を行い、歩道のない道路からの連結を行う。県道の歩道設置は道路幅員の関係から困難であり、路上駐車が多いため、路上駐車しにくい仕掛けをつくる。広場を活用した商店街でのイベント回数の増加に反し、マンパワーの確保が困難なためボランティア等の募集が必要である。現在、時代まつりを中心に年何回かのイベントがあるが、地元住民のみならず、参加型のイベント開催など、集客人数の見込めるイベントの検討を行う。また観光PRのための地域情報誌の発行により周知徹底を図る。